①

「ただいま」

「まあ、ケンぼう、どこいっとったんや。こないにぬれてしもて。」

だまって とんでくよつてに、むかえにも いかれへんし。

さあ、はやいときがえて、かぜひくがな。

あれ、あんた ねつあるんとちがう？

えらいこつちや。はよ ふとんはいり」

②

「あゝ、さいあくのクリスマスや。」

まだ あめがしとしと ふってんな。

そやけど、クリスマスやったらゆきと ちがうんかな。

ちきゅうおんだんかつちゅうやつで

ゆきも ながいことみてへんな。

そやけど サンタさん、こんなあめのなか

プレゼント くばってるんかな。ごくろうさんやな。

あゝあ、いまごろみんな ばんごはんやろか。

からあげたべそこねたな」

③

「あれ？ そこにいるの おかあちゃんか？

あのな、からあげな……

あれ？ おかあちゃんどちがう。

なんかええにおい、ながいかみ。

あのうしろすがたは、たかしくんのママ？

ぼくのおかあちゃんに なってくれたん？

やった！

サンタさんが ねがいを

かなえてくれたんや。

わゝ、ごちそうもいっぱいや」

「ケンちゃん。さあ、めしあがれ」

と、ふりむいたそのかおは……

④

「わゝ!!

シチメンチヨウや!!」

「きょうから、わたしが ケンちゃんのママよ。

さあ、いつまで ねてるの？

はやくおきて、べんきょうしなさい」

⑤

「いたい いたいて！ つつかんといて。

だいたい なんて シチメンチヨウが しゃべってんねん」

「メルヘンのせかいでは、なんでもありなのよ。

ホーホッホッ

「なにが、メルヘンや。

おまえのかおが ヘンやつ！」

「ホーッホッホッホッ」

「いたいがな、やめてえな、いたいちゅうね。

わく たすけてく おかあちゃ〜ん！」

⑥

「ケンぼう、ケンぼう、だいじょうぶか」

「あ、おかあちゃん。

よかった。おかあちゃん、よかった」

「なにを ゆうてんねん。おかしなこやな。

ゆめでも みたんか」

「ううん、なんでもないねん。

それより おかあちゃん、おなかへった。

からあげたべたい」

「そんなもん、とつくに あれへんがな」

「え〜！ からあげ〜。からあげ！ からあげ！」

「しょくよくが でてきたところをみると…

よかった。ねつ、さがってるわ。

からあげなんか、またなんぼでも つくつたるさかいな。

さあ、おてんきはどうぞよろ」

⑦

おかあちゃんが そういって、カーテンを あけると

おひいさんが パアとさしこんで

こころはればれ、

あめも からっと あがりました。